

安全ハシゴ

斜め昇降式 model **MZS**

縦型成形機の高所作業に



豎型成型機のホッパーへのアクセス時の転落事故防止に！

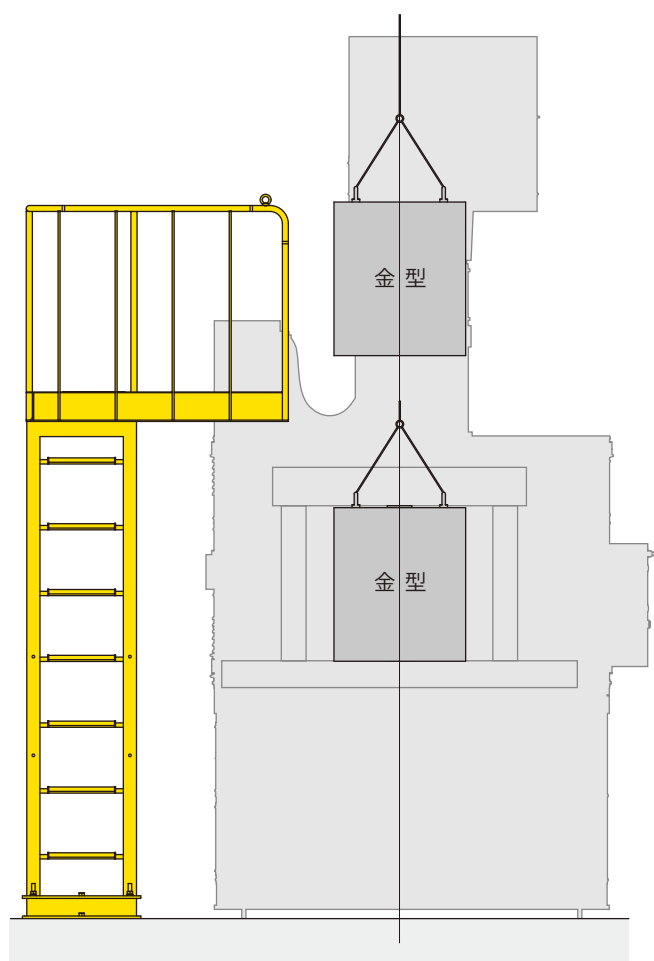
材料投入や清掃などの高所作業には安全ハシゴが必要です。

- ① 1.5 m以上の高所で作業をするためには、安全に昇降できる設備(ハシゴ)が義務付けられています(労働安全衛生規則526条)。
- ② 2 m以上の高所での作業には安全に作業するための作業床(作業スペース)と手すりを設けなければなりません(労働安全衛生規則518条、519条)。
- ③ 上記①・②は最低限の基準であり、作業者が高さ1 mに満たない作業台から転落した事故でも安全配慮義務違反に基づく損害賠償義務を課せられた判例があります。
- ④ 日本国内では毎年30人弱の労働者がハシゴ等からの墜落・転落により亡くなっており、成形機からの墜落・転落でも死亡事故や傷害事故が発生しています。
- ⑤ 前記①・②の安全対策が法律により義務付けられているにもかかわらず、安全対策をとらずに死亡等の重大事故を起こすと労働基準監督署から機械の使用停止命令が出され、安全性が確保されるまでは使用できないことになります(労働安全衛生法98条)。
- ⑥ 被災者やその遺族から事業主に対して民法上の不法行為・債務不履行(安全配慮義務違反)等に基づいて損害賠償請求をされると、死亡または重大な後遺障害が発生した場合には損害賠償額が1億円以上になることもあります。
- ⑦ 大手の射出成形工場ではダイチェンジャによるクレーンレスの金型交換が40年前から導入され、現在では広く浸透しています。安全対策が不十分なままで重大事故を起こすと、労働基準監督署から安全に対する管理責任を厳しく問われます。

安全ハシゴ

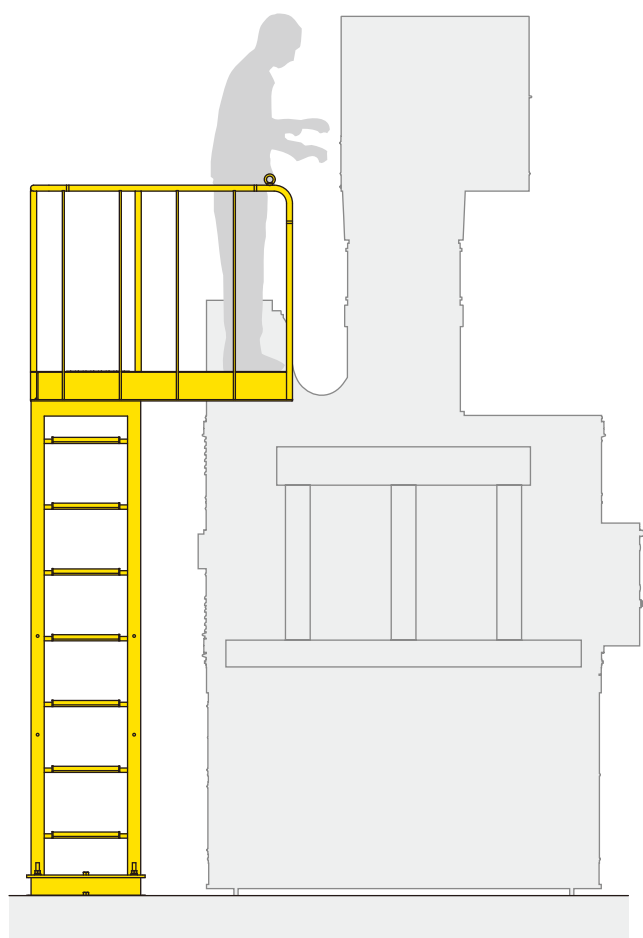
金型搬入時

金型を搬入する場合でも、干渉しない位置に安全ハシゴが設置されているため、金型搬入作業の妨げになりません。



高所作業時

作業者は手すり付きの通路を通り、ホッパーの近くまで安全にアクセスできます。



ハシゴを使って安全に昇降することができます。



手すり付きの安全な作業スペース



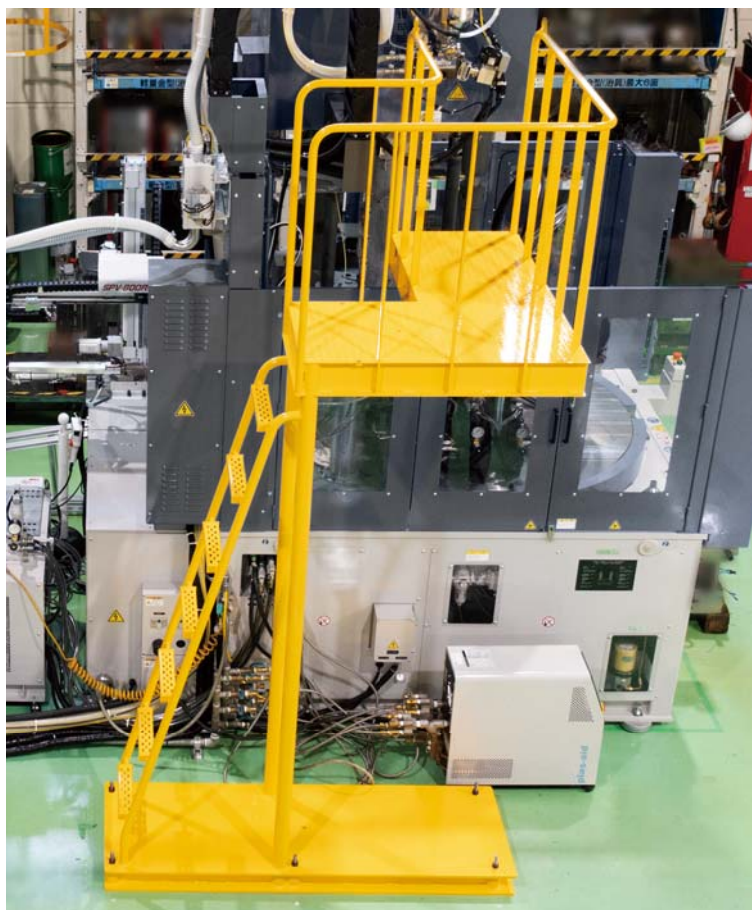
幅広で滑りにくい平らなステップ



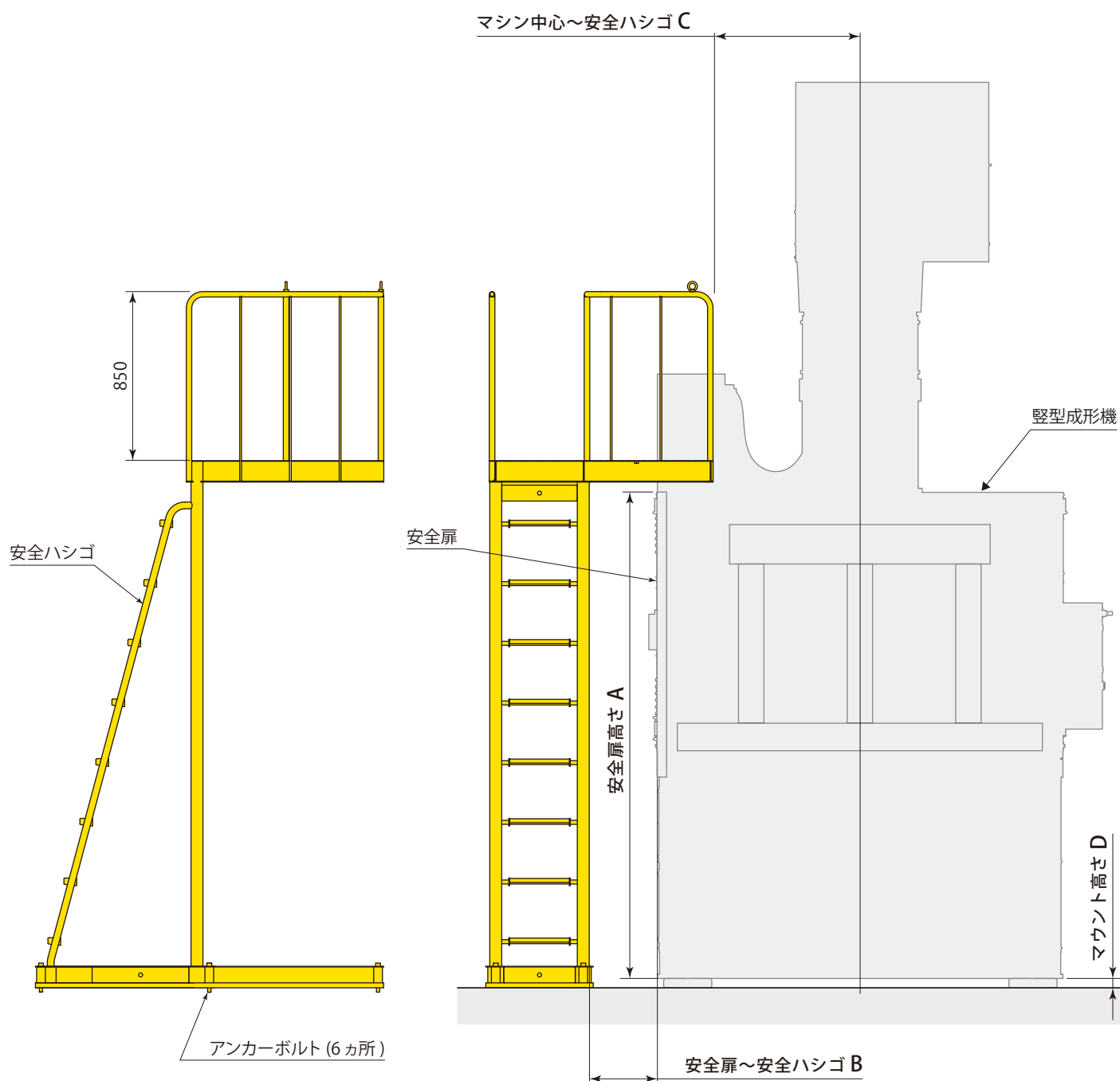
アンカーボルトでしっかりと固定

安全ハシゴ 実施例

縦型成形機の高所作業用に採用 (ステージ高さ:2400mm)



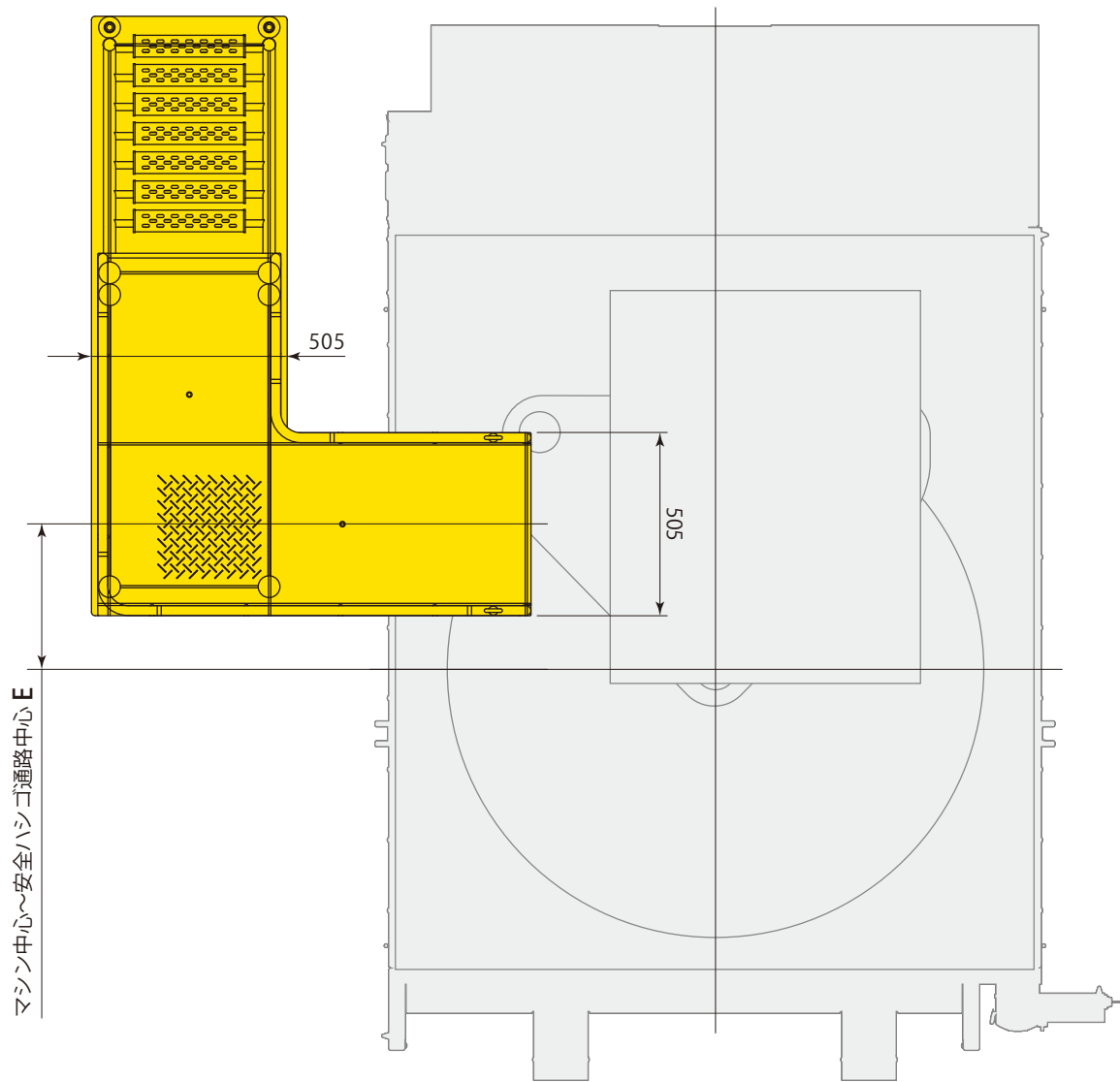
製作時、以下の寸法をご指示願います。



(mm)

安全扉高さ	A
安全扉～安全ハシゴ	B
マシン中心～安全ハシゴ	C
マウント高さ	D

安全ハシゴ 平面図



(mm)

マシン中心～安全ハシゴ通路中心

E

Pascal パスカル株式会社

本社 〒664-8502 兵庫県伊丹市鴻池 2 丁目14-7
TEL.072-777-3521 FAX.072-777-3520

